

# 平成18年度の 筑後川における取り組み

筑後川河川事務所

# 下流～中流

整備計画箇所

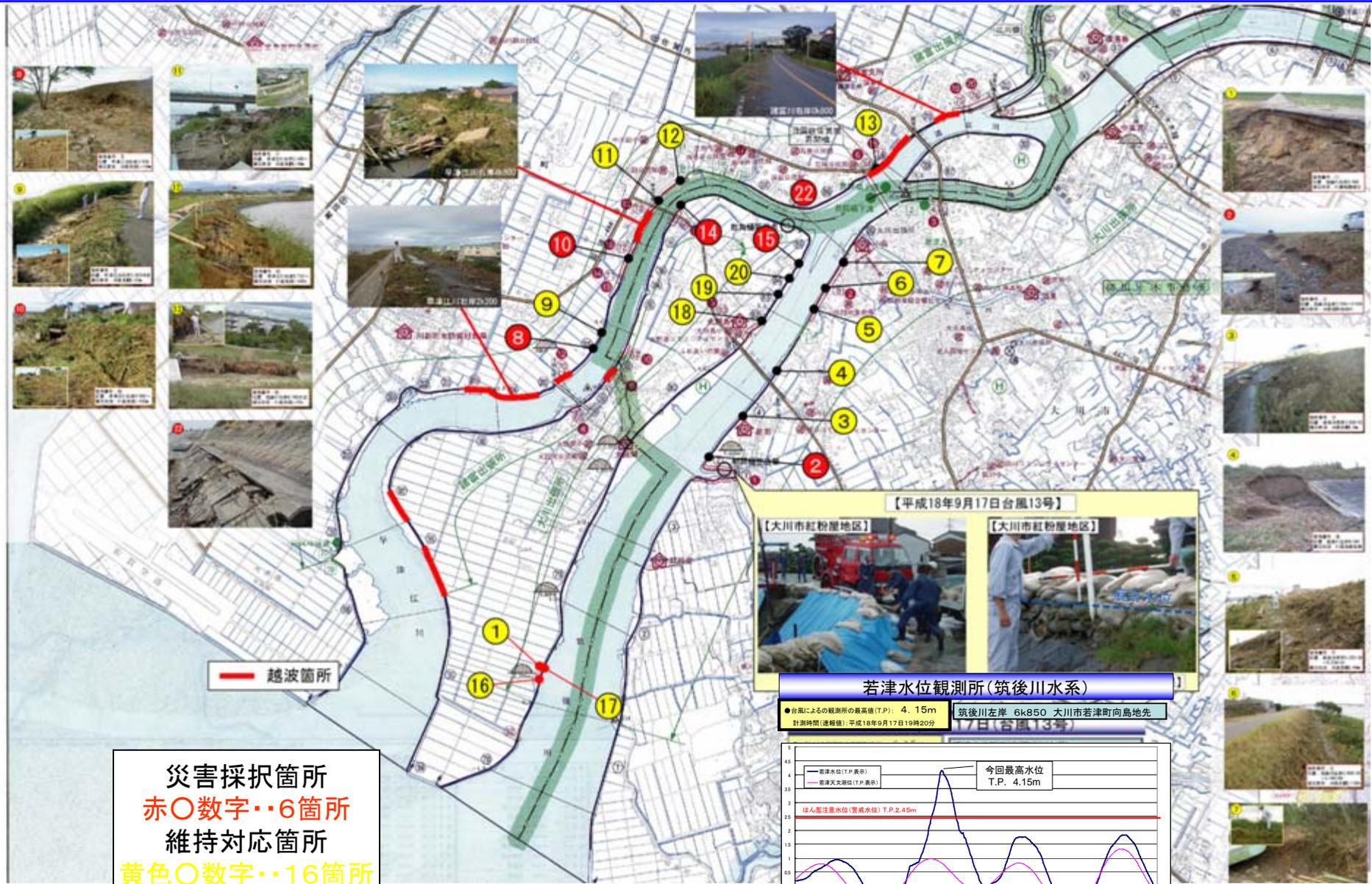
平成18年度実施箇所



# 上流

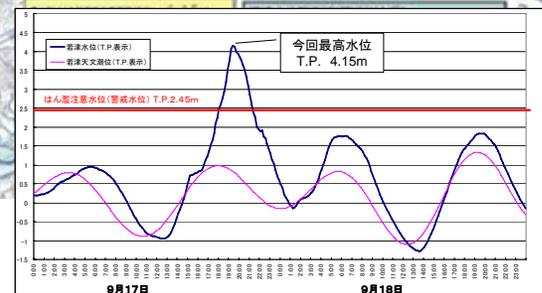


# 平成18年9月台風13号の高潮による施設被害状況



災害採択箇所  
 赤○数字・・・6箇所  
 維持対応箇所  
 黄色○数字・・・16箇所

【平成18年9月17日台風13号】  
 【大川市紅粉屋地区】  
 若津水位観測所 (筑後川水系)  
 筑後川左岸 6k850 大川市若津町向島地先



# 高潮対策（紅粉屋地区）

位置図



大川市紅粉屋地区



平成18年9月台風13号の際、土嚢積により浸水を防いだ

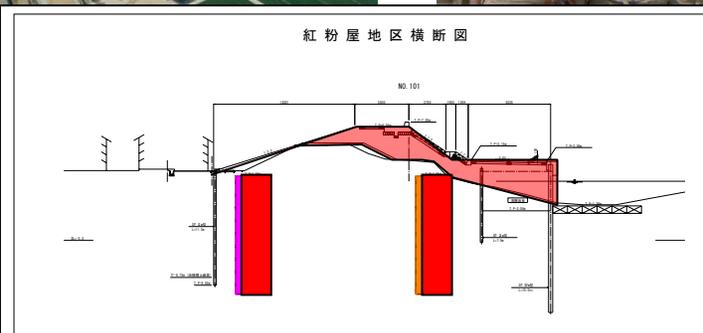


紅粉屋(新田入江)浸水状況  
(平成11年9月24日:台風18号)

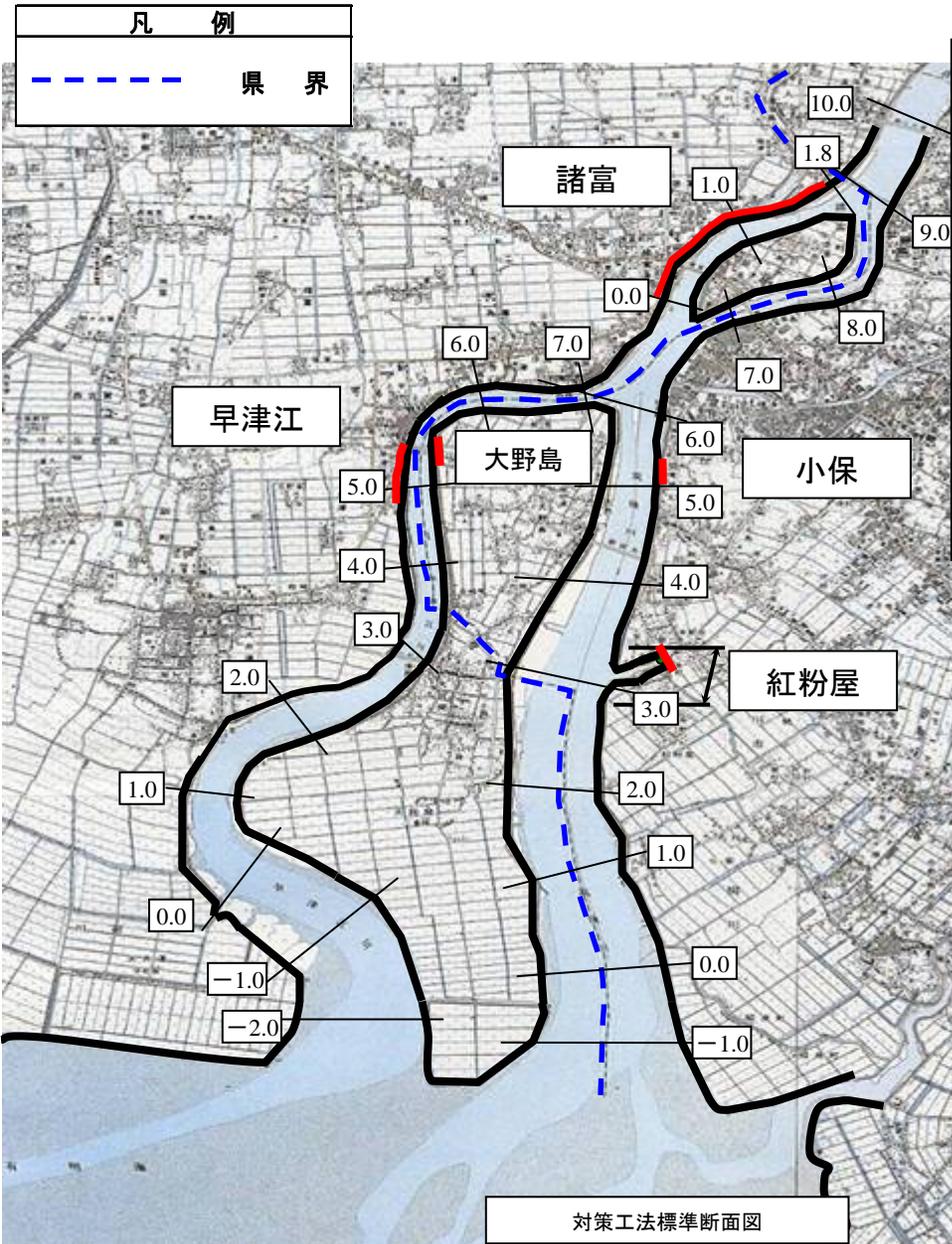


地盤改良を実施している状況

紅粉屋地区横断面図



# 台風13号を受けての緊急的対応（基本事項）

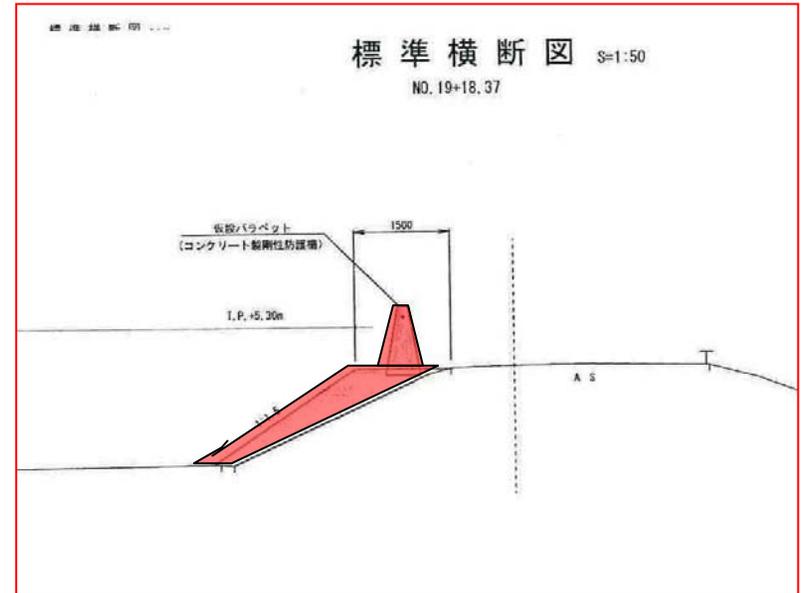


## 【対応方針】

平成18年台風13号の高潮において地元の水防活動を容易にするための暫定的な対応を実施。

## 【実施場所】

紅粉屋地区、小保地区、早津江地区、大野島地区



# 緊急対策特定区間（久留米市街部改修）

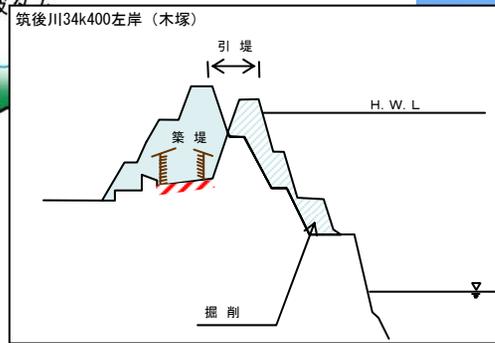
## 位置図



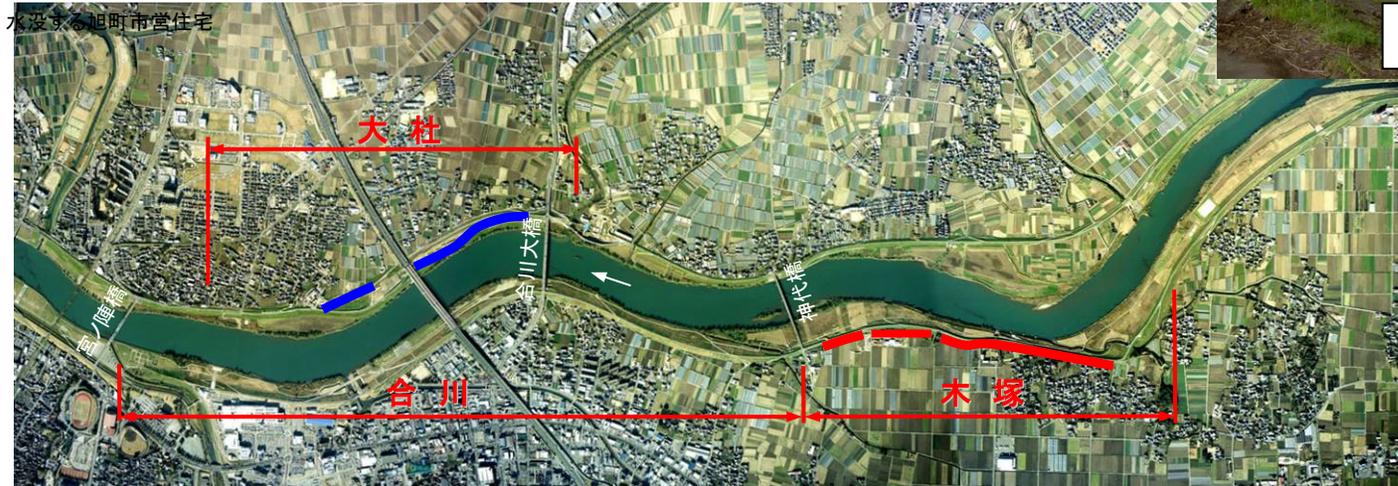
◎平成15年度から久留米市街部を緊急特定区間とし重点的に整備を実施している(合川、大杜、木塚、瀬の下)

◎木塚地区は、水衝部でもあり背後の資産が集中していることから優先的に整備を実施。

## 築堤実施状況



## 水衝部対策



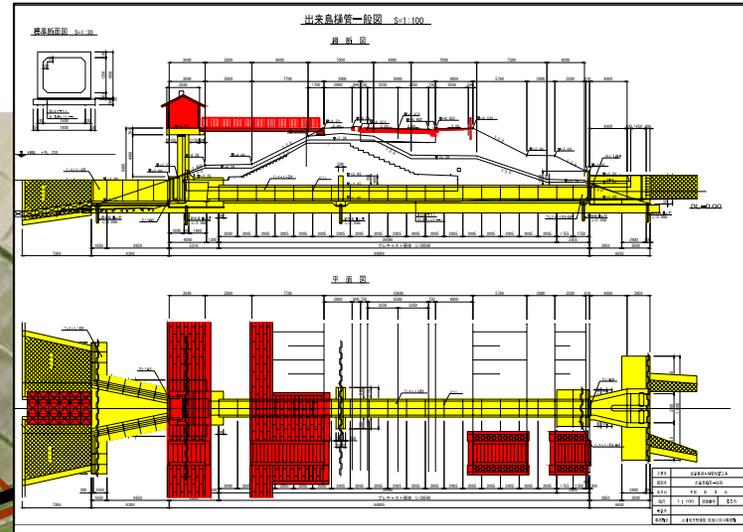
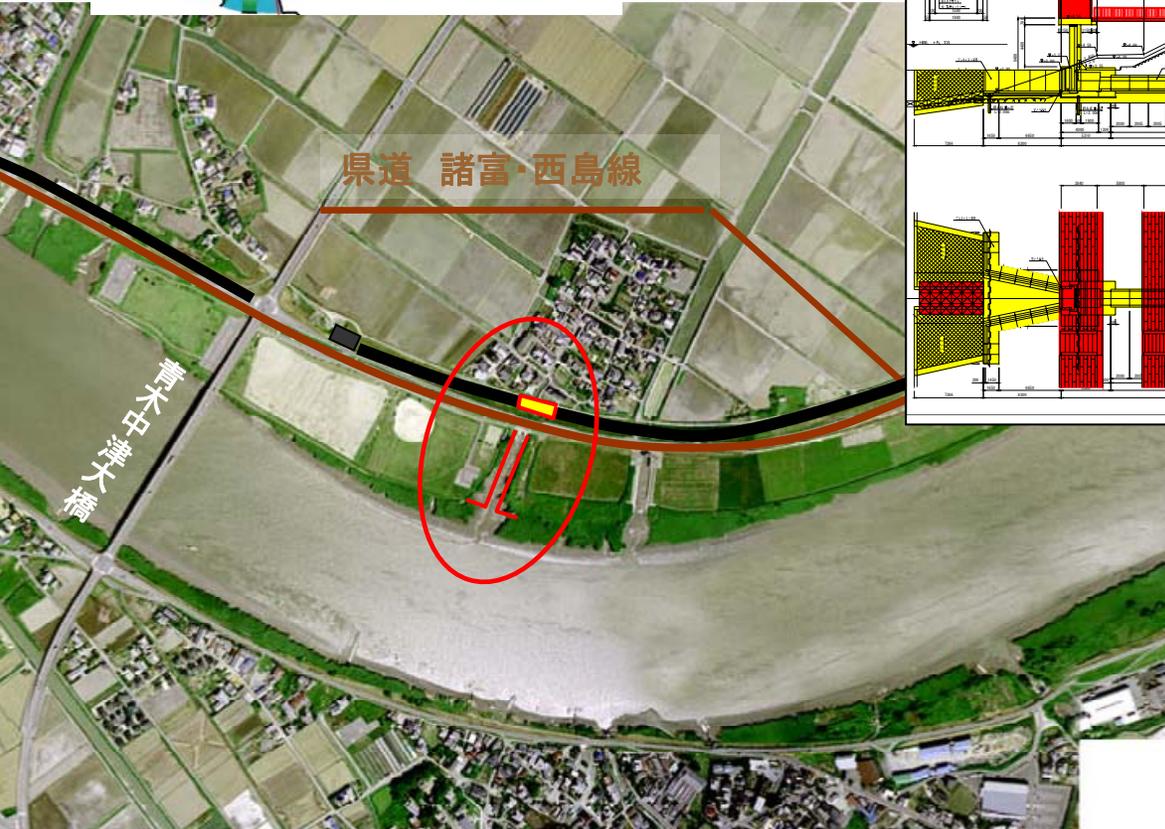
# 出来島樋管改築工事

位置



◎佐賀県の道路整備事業と連携して堤防の嵩上げを実施

◎現在、出来島樋管改築工事を実施中。(平成19年度完成予定)



H19. 3実施状況

# 寒水川水門工事

位置図

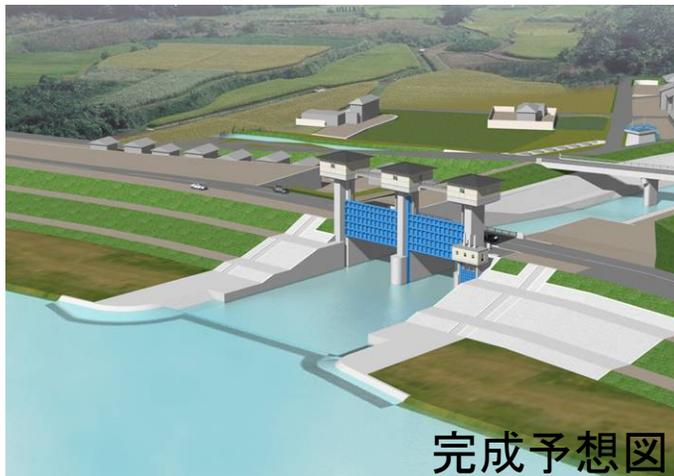
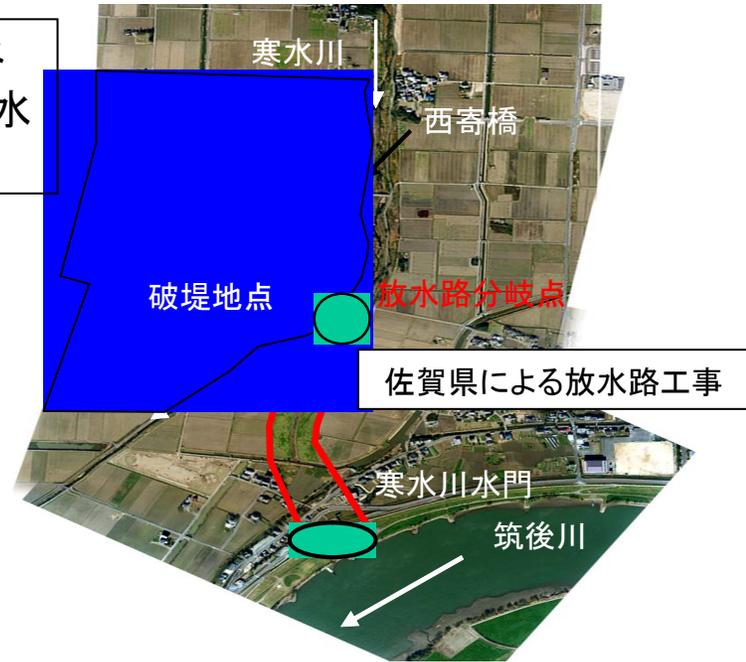


平成20年目処に佐賀県で放水路  
工事、国で水門整備を実施し、寒水  
川の治水安全度1/50を確保

平成13年7月12日  
梅雨前線豪雨  
床下浸水戸数 6戸  
浸水面積 59ha



破堤による甚大な被害



完成予想図



平成20年目途に完成予定

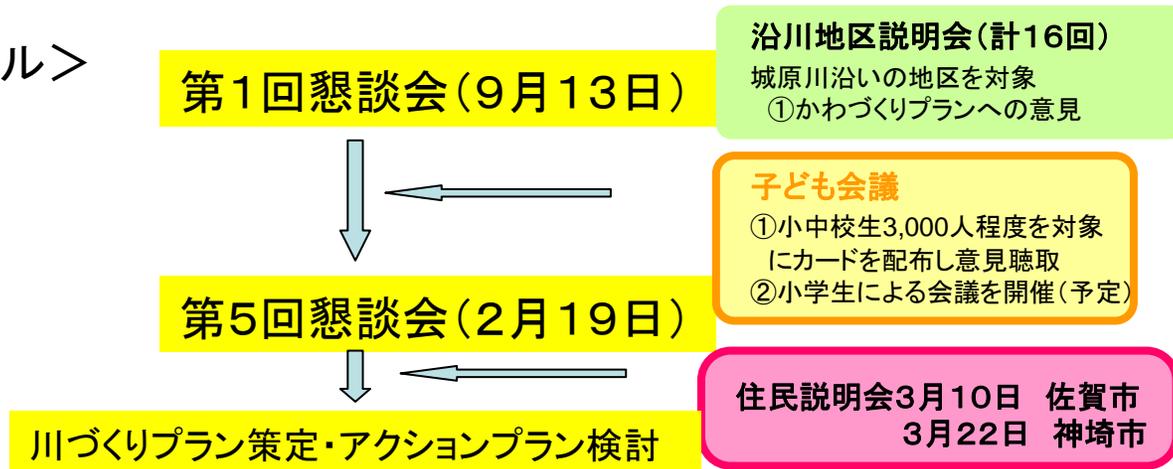
# 城原川未来づくり懇談会

◎佐賀大学の太田助教授を座長とし、地域住民代表、教育委員会等をメンバーとして「城原川未来づくり懇談会」を開催。

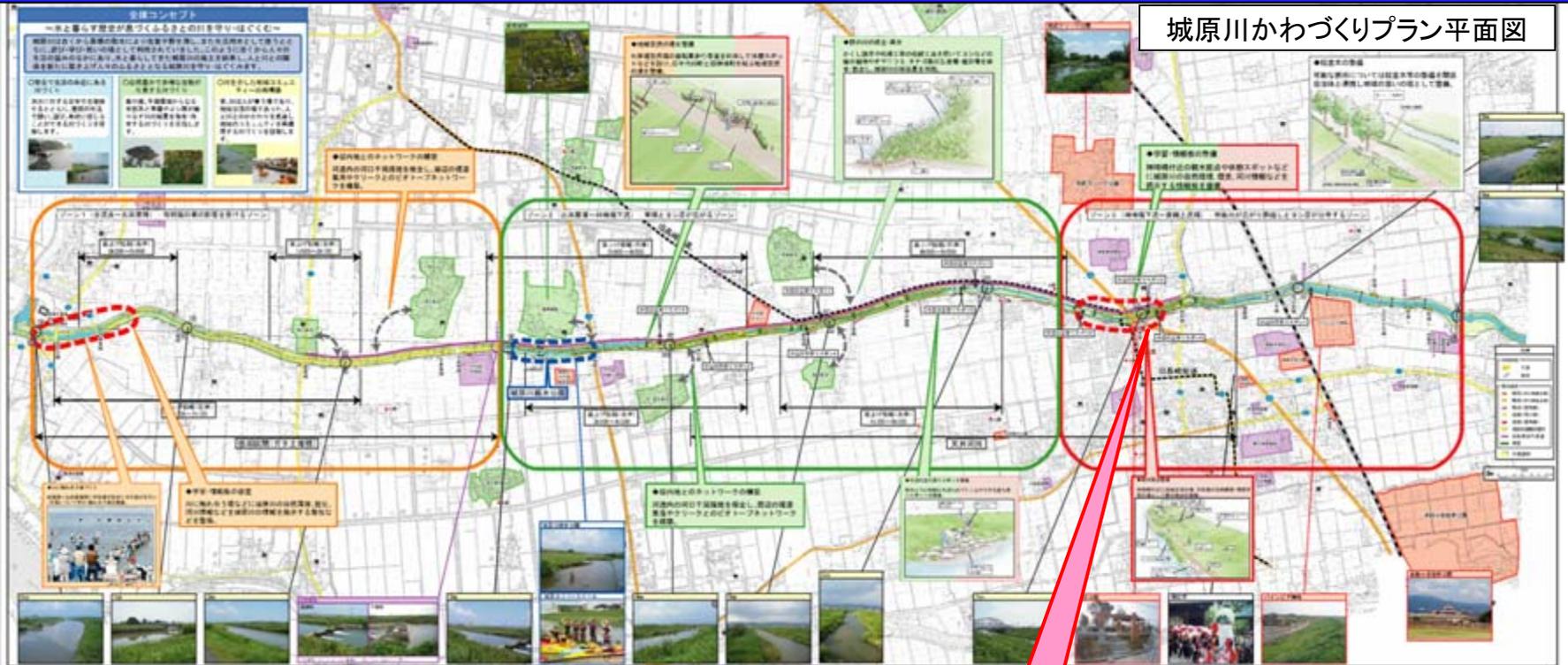
<目的>

1. 城原川について、河川整備のイメージを示した「川づくりプラン」の作成
2. 地域住民に親しみ深い川にし、日常的に川にふれあうことができるための仕組みづくり
3. 城原川を地域の核としたまちづくりや地域住民の連携体制の確立、地域の防災力の向上

<スケジュール>



# 城原川かわづくりプラン（案）



## 水と暮らすふるさとを守り、人と川とのつながりを育む

### ①安全に暮らせる基盤づくりと地域防災力の向上

洪水に対する安全性を確保する基盤づくりを進めるとともに、地域を含めた総合的な防災力を向上させる川づくりを目指します。



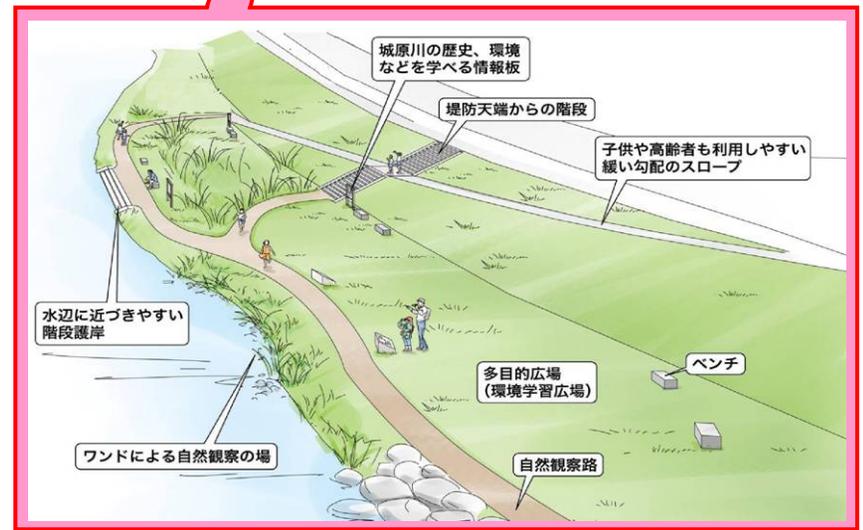
### ②自然豊かで多様な生物の生息空間の保全

瀬や淵、干潟環境からなる生態系と草堰やヨシ原が織りなす川の風景を保全・再生する川づくりを目指します。



### ③ひとびとの生活と城原川とのつながりの再生

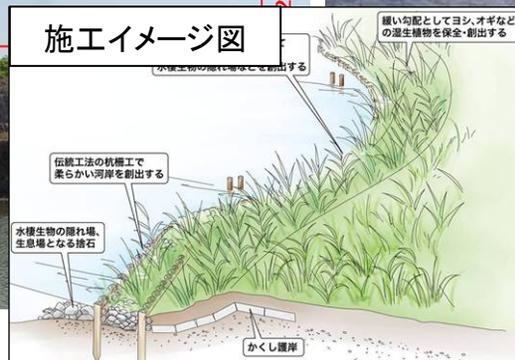
昔、川は人が集う場であり地域交流の場でした。人と川とのつながりを再生し、人々に親しまれる川づくりを目指します。



# 城原川改修工事

◎改修事業と災害復旧事業を併せて事業実施。

◎流下能力の低い夫婦井樋橋下流部を掘削・護岸整備



# 日田川まち未来づくり懇談会



水辺に近づける庄手川のイメージパース

## 川まち未来づくり懇談会の進め方

川まち未来づくり懇談会

検討

<各検討部会> 必要に応じて部会を設置

- ・三川分派対策部会
- ・まちづくり部会
- ・水環境部会
- ・景観検討部会
- ・河川利活用検討部会
- ・庄手川検討部会

川づくりプランの作成

## 庄手地区川づくりワークショップの進め方

Aグループ  
川づくりプラン

.....

Fグループ  
川づくりプラン

参加者が6グループ(計47人)に分かれて各グループ毎に庄手川の川づくりプランを検討

全体で議論し1つにまとめる

1月から4回実施

庄手川かわづくりプラン(案)

地域住民に説明・意見聴取

庄手川かわづくりプラン策定

平成19年度予定

# 日田地区環境整備

- ◎平成17年度～平成20年度環境整備事業を実施
- ◎平成18年度は遊歩道及び船着場の整備
- ◎地域住民の意見を聞きながら実施



高瀬地区310m程度

若宮地区220m程度

三隈大橋

平成19年度予定



高瀬地区整備イメージ

# 3月21日「くるめ船通し」が開通！

位置図



船着場整備(太刀洗)(6月完成予定)

# 3月21日「くるめ船通し」が開通！

## 閘門の通行イメージ

**1** 下流側(二千年橋側) 上流側(久留米大橋側)



下流閘門ゲート(マイターゲート)を開いた状態、上流閘門ゲート(ライジングセクターゲート)を立て起こした状態で、船が閘門の中に入航し待機します。

**2** 下流側(二千年橋側) 上流側(久留米大橋側)



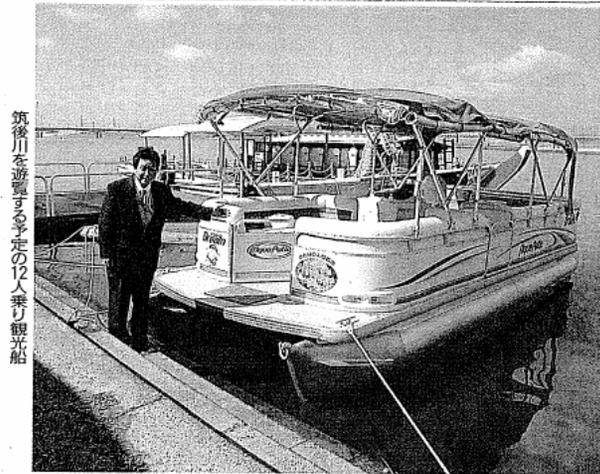
下流閘門ゲートを閉じて閘門を充水し、閘門と上流側の水面の高さを合わせます。(閘門の水面の高さを上げます)

**3** 下流側(二千年橋側) 上流側(久留米大橋側)



上流閘門ゲートを寝かせ船が上流側に出航します。

西日本新聞(夕刊)H19. 3. 12



筑後川を遊覧する予定の12人乗り観光船

## 筑後川観光船いざ進水

久留米市

筑後川に遊覧船を浮かべ、水辺の四季折々の自然を楽しんでもらう観光事業が、福岡県久留米市で動き出した。十二日、民間業者が運営する観光船(十二人乗り)の進水式が同市京町の河川敷であり、同市幹部などが出席して事業の始動を祝った。

筑後川での観光船は、イベントなどで一時的に浮かべられたことはあったが、本格運航は初めて。運航するのは、同市城島町の建設業「江上工業」。計画によると、観光船同市新合川一丁目の船着き場と、約四百以下流の同市宮ノ陣五丁目に四月完成予定の船着き場を、約十分かけて往復する。同社は国から船着き場の使用許可を得て、同月下旬の運航開始を目指している。一日に少なくとも一往復、料金は片道三百円程度を検討しているという。

同市では、筑後川を観光の目玉の一つにしようと二〇〇三年六月、学

## 「水辺の四季を楽しんで」

識者や行政、民間企業の関係者などでつくる「久留米地域舟運再生検討委員会」が発足。「フランス・セーヌ川のクルーズ船をモデルにした遊覧船を筑後川に走らせよう」と提言していた。

今回の遊覧船よりさらに約八百以下流には、河床保護のためにプロック柱が埋められており現在、船舶は運航できないが、この地点を迂回する新たな水路が今月末までに完成予定。久留米市から同県柳川市の河口まで長さ約二十七キロの船の運航が可能になる。このため、同社はコースの延長も検討しており、市による検討する会社があるという。

同市観光振興課の江頭裕二課長補佐は「菜の花や河川敷の緑など、川面からは筑後川の新たな発見があるはず。久留米の新たな魅力としてPRし、観光客増加につなげたい」と話している。

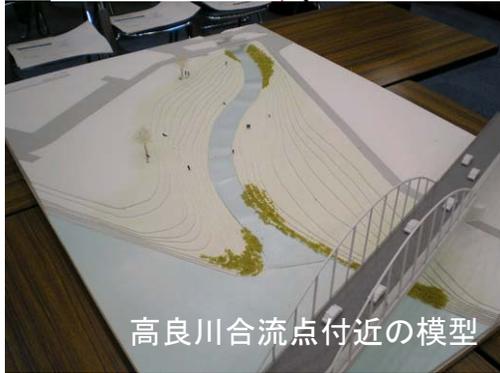


# 合川地区景観形成事業

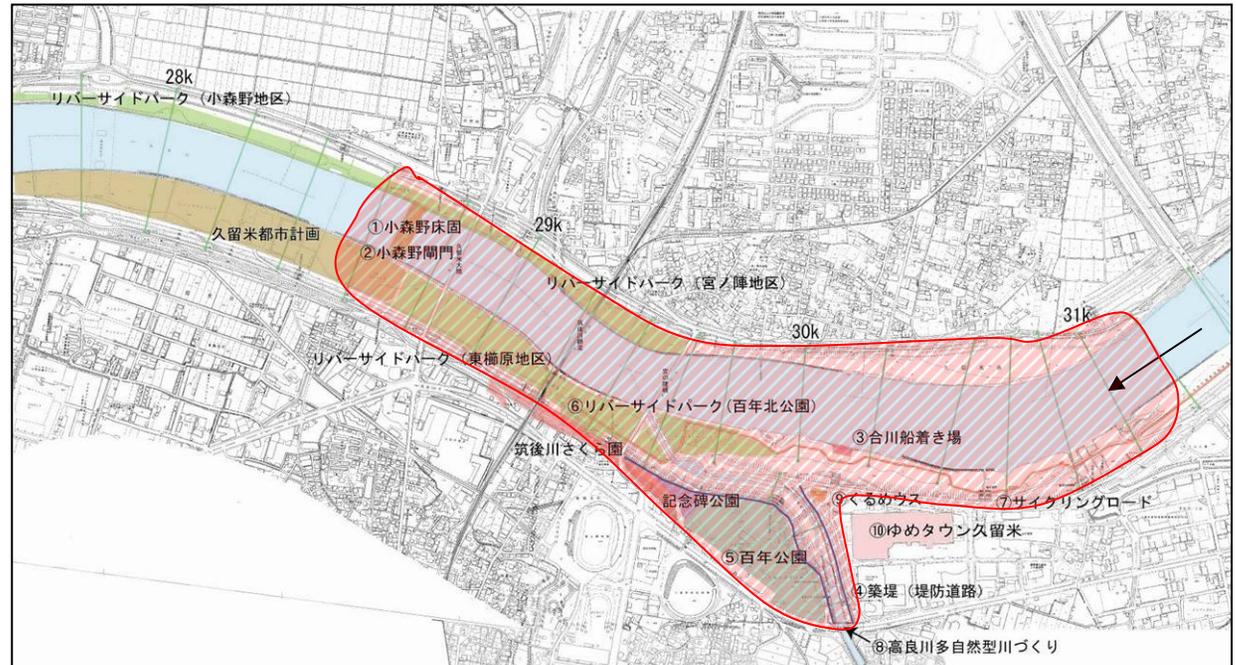
位置図



- ◎久留米の合川地区において地域住民のニーズを把握しよりよい川づくりを実施するため「くるめウス周辺環境整備懇談会」を開催。
- ◎メンバーは、NPO、地元代表、学識者、久留米市などから構成。
- ◎今年度、平成18年10月に第1回目を開催し、3月までに5回実施した。
- ◎実施にあたっては模型などを使い検討を行った。



高良川合流点付近の模型



検討対象範囲



# 合川地区景観形成事業

◎景観形成事業により護岸の補修及び親水性を考慮した整備を行った。経年的に自然環境の変化を確認する。

◎来年度より当該地区において環境整備事業を実施。



身障者の方の現地確認



↑  
高良川



筑後川  
↓

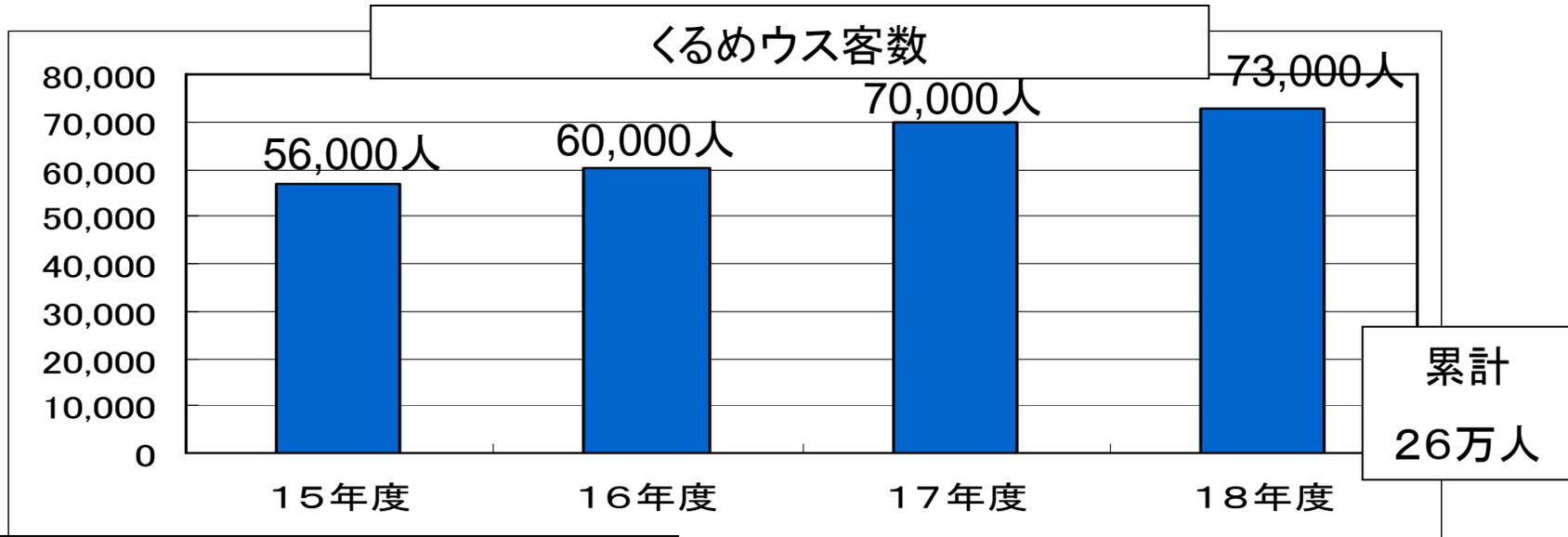
模型の範囲



実施後

実施前

# くるめウスが来館者数25万人突破！



西日本新聞(朝刊)H19. 2. 19

**筑後川発見館くるめウスの入館者25万人達成**  
**地元の吉武君に記念品**

久留米市

久留米市新倉川二丁目「筑後川発見館くるめウス」の入館者が十八日、累計二十五万人に達した。開館から三年八カ月目で、二千五百人となった同市御井原館二丁目、吉武大輝君などに時計や腕時計などの記念品が贈られた。

同館は一九五三年六月

「魚が大好き」という大輝君は一家四人で同館を訪れた。記念品を手渡した家納雄次館長は「二子もたちにも筑後川に親しみをもち、これからも楽しいイベントを準備していきたい」と話していた。

同川の歴史や水害記録の展示に加え、同川に生息する約百種の生物のうち、約五十種の魚やカメなどを水槽で飼育展示している。

二〇〇三年六月に開館した。

久留米市水害記録の展示に加え、同川に生息する約百種の生物のうち、約五十種の魚やカメなどを水槽で飼育展示している。



# 地域と連携した防災力の向上

## ～流域自治体との連携強化～

### ◇自治体、県土木、河川事務所のさらなる連携

H18.7.4城原川洪水及びH18.9.17台風13号高潮を受けて、大規模な洪水及び高潮災害が生じた時に関係機関がどう行動すべきかをシミュレーションする机上訓練を実施。【神崎市、大川市】



洪水時の机上訓練の状況(於:神崎市役所)

### ◇首長と河川事務所長とのホットライン

### ◇ブロック毎の災害情報協議会を設置

## ～きめ細やかな防災情報の提供～

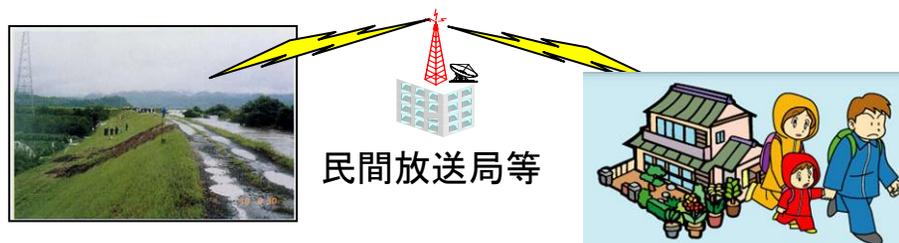
### ◇洪水ハザードマップの技術支援

水防法に基づき、自治体が作成・公表しなければならない洪水時のハザードマップの技術的な支援を引き続き図っていきます。

7自治体公表／氾濫区域内 19自治体  
※平成18年度は、小郡市にて公表されました→



### ◇河川監視カメラの映像を自治体、放送局等への提供に向けた調整



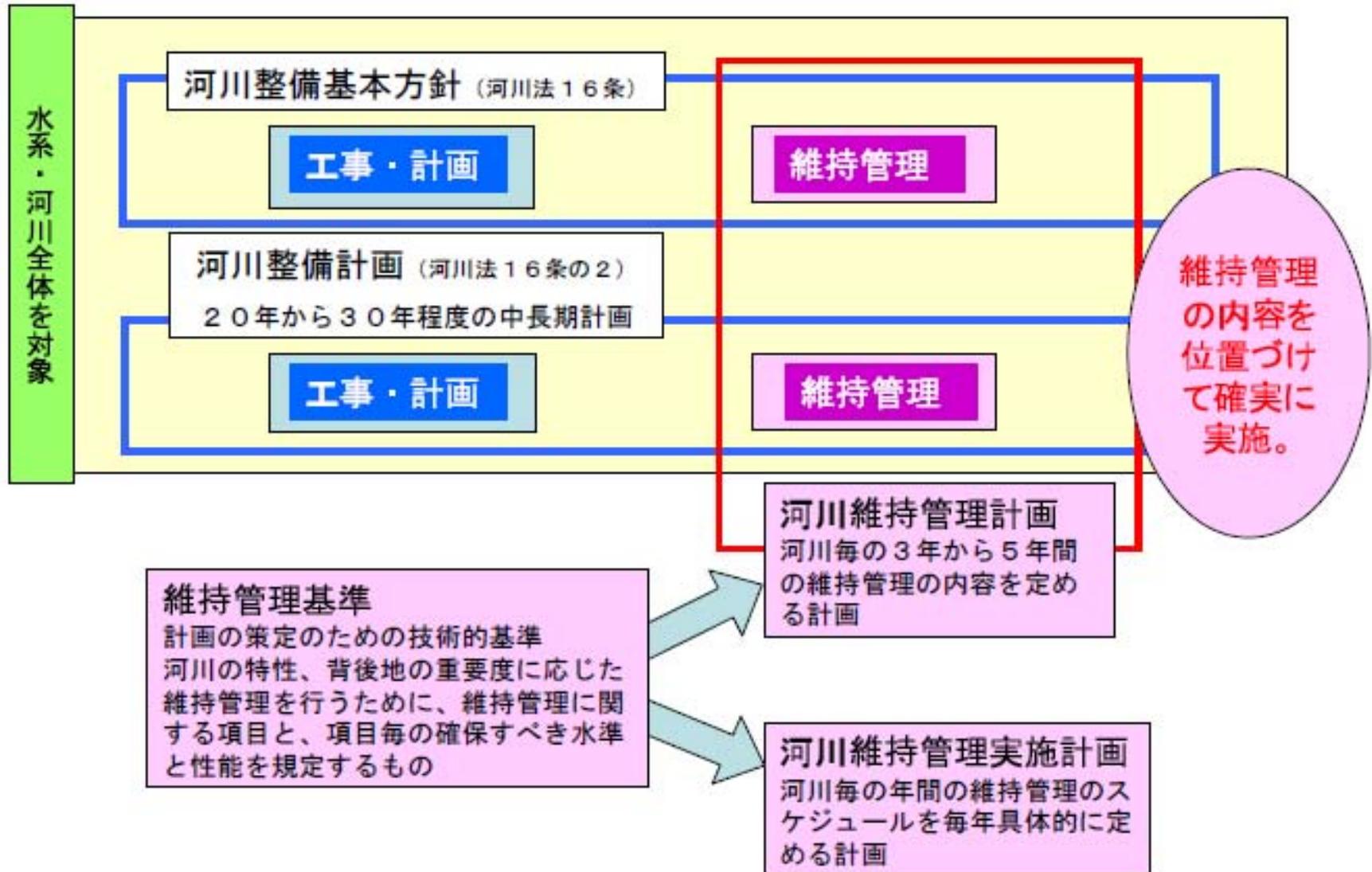
洪水時等のカメラ映像

住民の避難行動

### ◇わかりやすい防災用語の周知徹底

- ・ 行動や状況を示す語句で構成された用語への改善  
例：警戒水位→はん濫注意水位
- ・ 聞いてわかりやすい用語への改善  
例：破堤→(堤防の)決壊、洗掘→深掘れ 等

# 河川管理維持管理計画



◎平成18年度に筑後川においても河川管理維持管理計画を策定。今後、これに基づき適正な維持管理を実施。

# 河川管理維持管理計画

## ガタ土堆積による機能低下



## 不法投棄・ゴミ



## 数多くの老朽化した河川管理施設の管理



## 河道内樹木の繁茂



## 秩序ある河川空間の利用



## 軟弱地盤による構造物への影響



# 刈り草の有効利用

◎刈草を無償で配布

◎堆肥化し公園へ利用

## <刈草リサイクル率>

H17 → 16.8%

H18 → 21.6%



平成17年の配布状況

### 【刈草の利用事例】

- ・果樹園、茶畑の敷草
- ・堆肥
- ・家畜の飼料 etc



【茶畑のマルチング材】



【乳用牛の飼料】



【酪農家による堆肥化】

## 刈草をリサイクル

筑後川河川事務所



焼却処分していた雑草から作った堆肥資源有効活用の取り組みとして音が集まる。佐賀市埴町の筑後川河川事務所管内出張所。

## 焼却処分 ↓ 堆肥化

筑後川などの堤防を管理する筑後川河川事務所(久留米市)が刈り取った草のりサイクルに取り組んでいる。年かけて堆肥化し、吉野ヶ里歴史公園(神埼市、吉野ヶ里町)の畑で活用するもので、雑草の処理に苦慮する同河川事務所と、効果的な整備を目指す同公園の意思が一致して形を交えた。地産地消を実現させた。と意気込んでいる。

### 吉野ヶ里公園 ソバ畑などに活用

堆肥化は同河川事務所管内では、春と秋の年二回、堤防周辺や河川敷を除草。ヨシやカヤなど年間約九千トの刈草が出ていて、一部は近くの農家に配り、果樹園の敷き草に使われていたが、ほとんどは焼却していた。

同河川事務所管内では、春と秋の年二回、堤防周辺や河川敷を除草。ヨシやカヤなど年間約九千トの刈草が出ていて、一部は近くの農家に配り、果樹園の敷き草に使われていたが、ほとんどは焼却していた。

同河川事務所管内では、春と秋の年二回、堤防周辺や河川敷を除草。ヨシやカヤなど年間約九千トの刈草が出ていて、一部は近くの農家に配り、果樹園の敷き草に使われていたが、ほとんどは焼却していた。

しかし、焼却処分は、地球温暖化の原因となる二酸化炭素が発生することや、火災の危険がきまるところだから、活用の方策を探っていた。

一方、吉野ヶ里歴史公園は南のムラの畑で専らソバを育てる予定で、肥料購入を検討していた。と園土交通省の機関といこととで連携が決まり、公園内で植物の生育具合を調査することになった。

同河川事務所は調査結果を待って来年度以降、増産を検討する(と)としている。

(石黒)

佐賀新聞

# 地域住民による維持管理 筑後川・矢部川



矢部川沿岸のごみを回収する参加者

第二十一回筑後川・矢部川河川美化「ノーポイ運動」が二土目、柳川市や大川市、瀬高町などで一斉に行われた。河川や支流沿岸の住民が多数参加し、河川敷などに捨てられたごみの回収に汗を流して取り組んだ。

同運動は、国土交通省筑後川河川事務所と同筑後川ダム管理事務所、河川沿岸の福岡、佐賀、大分県の十七市町が主催。市民らに河川に物を捨てない意識を高めてもらうことや自然の愛護を目的に毎年実施している。

このうち柳川市は、大和町の矢部川沿岸で、約二百五十人が参加してごみを回収。金ほさみやごみ袋を手にした住民らは、泰仙寺橋の集合地点で、市役所職員から説明を受けた後、約三・五キロの区域で作業を行った。

住民らはヨシが生い茂った河川敷や道路沿いに落ちていた空き缶や瓶、ペットボトルなどを拾い上げ袋に入れていた。さびたバケツや鍋、機械の一部など不法投棄されたものも多数見つかり、この日だけで約七百八十

## 筑後川 矢部川 美化「ノーポイ運動」

### 住民が河川敷のごみ回収

ごみが集められた。また大川市では、筑後川総合運動公園を中心に約千五百人が参加。瀬高町では中ノ島公園周辺など、矢部川沿岸に約四百九十人が参加して、ごみの回収を実施。大川市で六・七キロ、瀬高町で一・七キロのごみがそれぞれ集まった。

運動を実施した柳川市の地域サービス課は、市による巡回や地元住民、廃棄物処理業者らの協力で、不法投棄は少なくなっている。これからも河川の美化に努めたいと話した。

(田籠 純)



地域住民による清掃活動状況



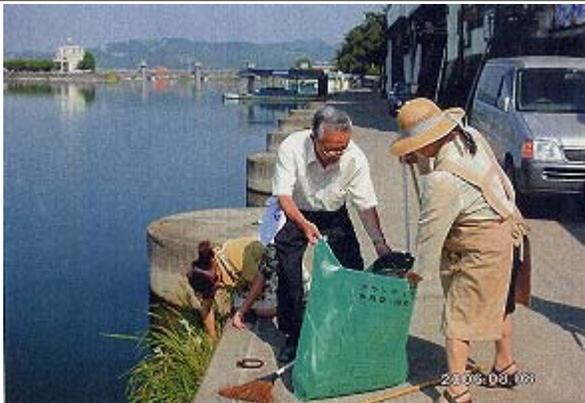
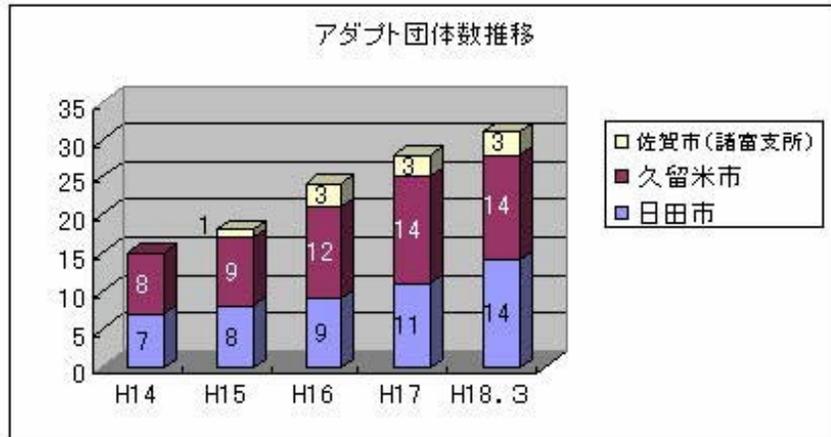
巨瀬川(大橋小学校前)において地域住民による維持管理が始まっています。

平成18年10月24日 有明新報

# 河川美化ボランティア功労表彰

◎筑後川河川事務所、日田市、久留米市、佐賀市、(社)北部九州河川利用協会は、筑後川直轄管理区間における河川美化ボランティア活動の活性化を目的に「河川美化ボランティア推進協議会」を発足させました。

◎これらの活動に功績のあった団体(個人含む)の表彰式を行いました。(平成19年3月20日)



活動状況



# 川の指導者養成講座

## ＜川の指導者養成講座＞

◎より多くの方に川に触れてもらい川に対する認識を深めてもらうことを目的に開催。

◎平成17年度、平成18年度と川の指導者養成講座を実施。

◎平成17年度 36人、平成18年度36人参加。

◎平成19年度は夏場の暖かい時期に実施。



---

## ＜リバースクールの開催＞

久留米市(合川)、神崎市(城原川)、日田市(大山)において地域住民が主体となりリバースクールが開催されている。



## まとめ（これからの整備の方向性）

- ▶ 下流部の高潮対策、久留米市街部の対策を中心とした治水対策を着実に実施するとともに、河川管理者、流域自治体、住民が協働して安全な流域を目指します。
- ▶ 城原川や日田地区、合川地区などで実施している懇談会などを継続し、「対話」と「協働」によるかわづくりを積極的にすすめます。
- ▶ リバースクールや住民の手による河川管理などの人々が川とふれあう機会を増やすとともに、人々が筑後川に関心を持ってもらえるような魅力あるかわづくりを行います。